



園だより

にじ

香川大学教育学部附属幼稚園
NO.19 2018年3月8日
卒園おめでとう号

修了式を明日に控え、子どもたちの心の中はどのような思いなのだろうかと、思い巡らしています。幼稚園での人との出会いやできごとを通して、感じ考えたことは、きっと「言葉」では表せないけれども、胸の奥に溜め込まれてきている「大事なもの」であるのではないかと思います。今、アクティブ・ラーニングという言葉が飛び交っています。自ら考え、友達や周りの物事と対話(かわり)、自分をつくっていく学びです。まさにずっと昔から幼児期の子どもたちが体験から学び、それらを分かち合っていることそのものなのです。今も、その学びの土台を家庭で、園などで日々築いている子どもたち、すくすくと大きくなってほしいと願います。



青組の子どもたちの姿を見ていると、子どもたち自身が、共にいる安心感や楽しさから、「つながり」をつくり上げてきているのを感じます。彼らは、とても行動的な面をもっていると思います。あるときは、「おしゃべりさん」な一面もありますが、一つのきっかけから自分たちで、「～してみたい」「～したらどうかな」と、思いを広げていくパワーをもっています。身近なことに興味をもって、考えて、試して、工夫して・・・、このサイクルを循環させながら、一つの輪から大きな輪へとつなげていると思います。年長になり、その力をいっぱい発揮してくれました。

このような青組さんの姿を赤組さん、黄組さんは、「かっこいいな」、「なりたいな」と、憧れと見通しをもっています。青組さんの姿、遊びをよく見ていて、まずは、まねる行動をしています。まねられている青組さんも自覚しているのでしょうか。ちょっと誇らしげに、ちょこっと教えたり一緒に楽しんだり、いろいろな遊びの中で改めて、自分の園生活を振り返っているかのようです。園の文化の一人一人として、それぞれの味を出してくれたことに、「ありがとう」です。



ふわふわほこほこボールで・・・
最初に選んでいたボールは、ほこほこボール。たくさん跳ばない、固くないところが、赤組さんには扱いやすい。でも、青組さんには、固いボールと感覚が違うもの、不思議なゲームとなるのです。

2学期、夢中になってしていたサッカー遊び。青組さんの顔は真剣そのもので、思う存分したいという気迫を感じるものでした。3学期半ば過ぎ、赤組さんとの交わりが増える中、互いに変化してきている姿がありました。赤組さんは自分たちでもしたいけれど、青組さんともやってみたい、チャレンジの気持ちむくむくと大きくなってきているようです。青組さんは、決して力加減はしないけれども、ボールやゲームの仕方など、赤組の子どもたちが選べるようにしているところに年長としてのゆとりと誇りを感じているようでした。ゲームとなると、勝ち負けも面白みの一つ。だからこそ互いに真剣になって遊びながら、「青組って、すごいな」「赤組も強くなっている」など感じ合いつつ、遊び文化がつけられているのでしょう。

ある朝、赤組のHくんが、「サッカーしたい～」と外に向かって言うと、青組のYくんが、「ええーよ、よーし」と言って、ボール蹴りが始まりました。そして、加わる人たちが増えていきました。お互いに耳や心を向けている、楽しいサッカーという遊びでつながっている微笑ましい姿でした。



お別れ会 ～あおぐみさん ありがとう～

3月3日、青組さんとのお別れ会をしました。入場するときはどこか照れている表情でしたが、黄組さん、赤組さんが、歌のプレゼントや手作りプレゼントを届けてくれ、にこやかないい顔となりました。友達と見合いっこしたり、うれしさを言葉で伝えたりと、青組の今だからこそ味わえる思いをそれぞれの子どもたちは感じていたことでしょう。

卒園式のおけいこを一緒にしていたときのこと、赤組のSくんが「涙が出そうになった」とぼつり。青組さんの卒園に向かう姿や言葉から、青組の幼稚園とのお別れを感じたのでしょうか。言葉にしていなくても何かを感じている子どもたちです。青組さんの残してくれたいろいろな思い出をこれから先の園生活でどう生かしていくのかを楽しみにしています。

最後に、子どもたちへメッセージ

～出会えたことに感謝して～

星とたんぼぼ

青いお空のそこふかく
海の小石のそのように、
夜がくるまでしずんでる、
昼のお星はめにみえぬ。

見えぬけれどもあるんだよ、
見えぬものでもあるんだよ。

ちっつすがれたたんぼぼの、
かわらのさきに。だァまって、
春のくるまでかくれてる、
つよいその根はめにみえぬ。

見えぬけれどもあるんだよ、
見えぬものでもあるんだよ。

【わたしと小鳥とすずと 金子みすゞ童謡集】

JULA 出版

見えないもの、見えないこともちゃんとある、
信じて見つめようとする心が、子どもへの思いに
重なる、いつもそう思います。

金子
みすゞ

